iD44

AUDIO INTERFACE

日本語マニュアル　V1.0

audient.com

はじめに

Thank you for purchasing this Audient product!

英国のコンソール・ブランド「audient」は、自らオーディオ・インターフェースのハードルをさらに高いレベルに押し上げ、iD22 を上回るスペックを 20-in ／ 24-out で実現しました。信頼のアナログ回路と最高峰のコンバージョンに支えられたサウンドは、同クラスのデスクトップタイプとは一線を博すレベルです。また、シンプルな操作性は、クリエーターの集中力を損ないません。

主な仕様

- 20-in ／ 24-out デスクトップインターフェース
- 4 系統の class-A Audient コンソール マイク・プリアンプ
- クラス最高品位高性能 24-bit ／ 96kHz　AD ／ DA コンバーター
- デジタル拡張が可能な 2 系統 ADAT in & out
- 2 系統のディスクリート JFET 楽器入力
- 2 系統のバランスインサート
- 2 系統独立ステレオヘッドフォン出力
- メイン＆ Alt 出力
- スクロール コントロール
- ユーザー設定可能な 3 ファンクションキイ
- トークバック、Dim & Cut コントロール
- 低レイテンシー DSP ミキサー
- ワードクロック出力
- USB2.0 対応
- オールメタル躯体
- パワースイッチ
- ARC フリーソフトパッケージ

目次

パッケージ内容	1
Mac OSX インストール	2
Windows インストール	4
iDミキサー と ファームウェアのアップデート	6
ハードウェア概要	8
Microphone & Line　入力	9
Instrument 入力	10
インサート接続	11
デジタル入出力	12
スピーカー出力	17
ヘッドフォン出力	17
モニターコントロール	18
iD ボタン	19
トークバック	19
メーター	20
Kensington ロック	20
ソフトウェア概要	21
入力チャンネル	22
チャンネル機能	23
マスターセクション機能	24
システムパネル	27
Routing Matrix（ルーティング設定）	29
トークバック	30
プリセットのセーブ＆ロード	31
メニュー／タスクバーのアイコン	32
スタンドアローン・モード	33
ファームウェアのアップデート	33
キーボードのショートカット一覧	35
DAW セットアップ	36
Pro Tools セットアップ	37
Logic Pro セットアップ	38
Cubase/Nuendo セットアップ	40
Ableton Live セットアップ	42
トラブルシューティング	43
スペシフィケーション	46
寸法	47
品質保証	48
用語	49

パッケージ内容

iD44 のパッケージには、以下のハードウェアが同梱されています。

- iD44 本体
- 12VDC 電源アダプター（各国対応 AC プラグ付き）
- USB（A-C）ケーブル
- USB（C-C）ケーブル
- クイックガイド

※ソフトウェア（ファームウェア、iD ミキサー）やマニュアルは同梱されておりません。
下記の web ページからダウンロードしてください。

ダウンロード URL：
www.allaccess.co.jp/audient/id44

電源アダプター

iD44 の正常動作には 12VDC ／ 1.5A のパワーサプライが必要です。
付属のスイッチング型の電源アダプターは、90 ～ 264V（47 ～ 63Hz）の交流電源に対応しており、日本国内でそのままお使い頂けます。日本のコンセントに合った形状のコネクターを装着してご使用ください。

Mac OSX インストール

動作環境

- OS：Mac OS10.7.5（Lion）以降
- スペック：Intel CPU
- 1GB RAM 以上

1． ドライバーソフトウェアをインストールする

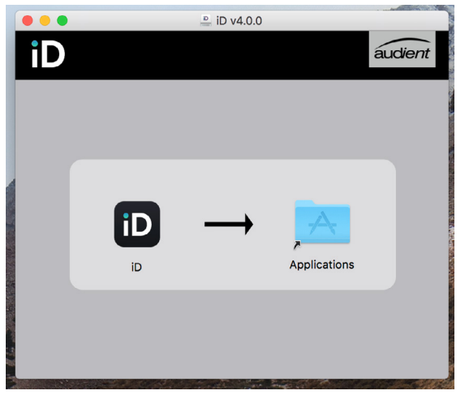
以下の手順に従ってソフトウェアのインストールを行ってください。web から最新ソフトウェアをダウンロードして下さい。ダウンロードしたインストーラーを開き、画面に従ってアプリケーションのフォルダーに「iD ミキサー」をコピーしてください。

www.audient.com/products /downloads/iD44

2． iD44 とコンピューターを接続する

同梱の USB ケーブルで、iD44 をコンピューターに接続して下さい。

その後、付属のアダプターを電源に接続して iD44 に電源を供給します。

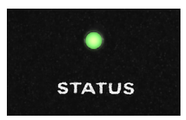


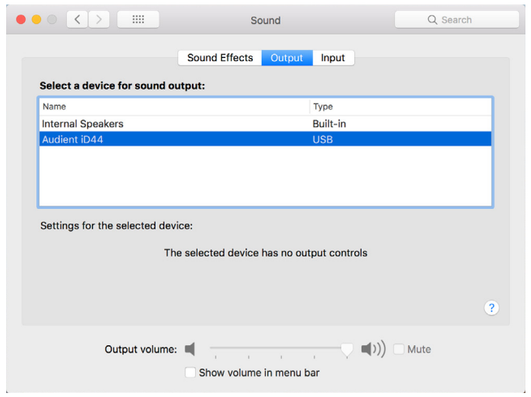
Mac OSX インストール

3. ステータス LED

接続が完了すると、“STATUS” LED が緑色に点灯します。

LED が消灯した場合、何らかの問題が発生しています。
コンピューターとの接続を確認してください。





4. 接続の確認方法

下記のフォルダーにて、コンピューターが正常に iD44 を認識しているかを確認することができます。

Macintosh HD > Applications > System Preferences

iD44 が I/O デバイスとして設定されているかを確認します。

また、「Audio MIDI のセットアップ」をチェックすることで詳細を確認できます。

Mac HD > Applications > Utilities

下記のフォルダーにて、20 入力／24 出力のレポートを確認できます。

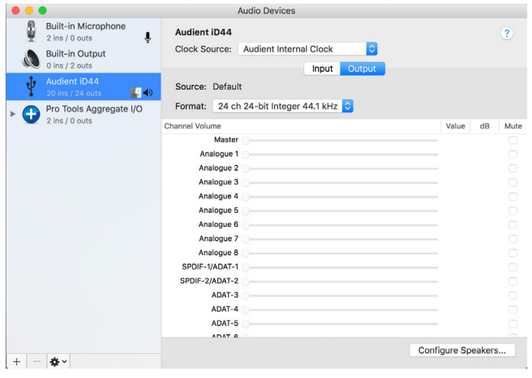
外部クロックを受けている場合以外は、「iD ミキサー」でクロックソースを設定してください。

Window > Show Audio Window

下記のフォルダーにて、20 入力／24 出力のレポートを確認できます。

外部クロックを受けている場合以外は、「iD ミキサー」でクロックソースを設定してください。

Window > Show Audio Window



Windows インストール

動作環境

- Windows 7 以降（32bit & 64bit）
- スペック：Intel Core 2 - 1.6 GHz 以上、または AMD 同等
- 1GB RAM 以上

1. ドライバーソフトウェアをインストールする

以下の手順に従ってソフトウェアのインストールを行ってください。web から最新ソフトウェアをダウンロードして下さい。

2. iD44 とコンピューターを接続する

同梱の USB ケーブルで、iD44 をコンピューターに接続して下さい。

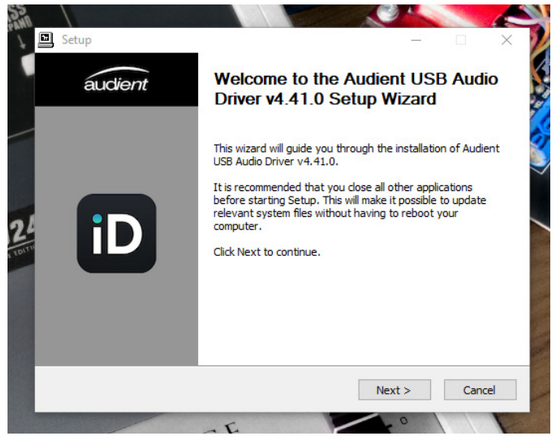
その後、付属のアダプターを電源に接続して iD44 に電源を供給します。

3. iD ソフトウェアのセットアップ

ダウンロードしたインストーラー（.exe ファイル）を開き、画面に従ってインストールを進めてください。

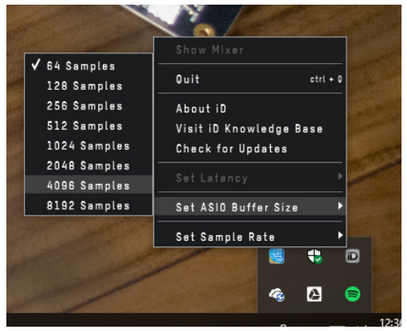
4. コンピューターの再起動

インストール完了後は、コンピューターを再起動してください。



5. 接続の確認方法

下記のフォルダーにて、コンピューターが正常に iD44 を認識しているかを確認することができます。
スタートメニュー > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > サウンド



「iD ミキサー」アプリケーションの起動
インストールが完了すると、システムトレイに「iD」アイコンが表示されるようになります。
・「iD ミキサー」は、iD44 が接続されている時のみ使用可能です。
・右クリックすると、サンプルレートやバッファーサイズの設定を行う事ができます。

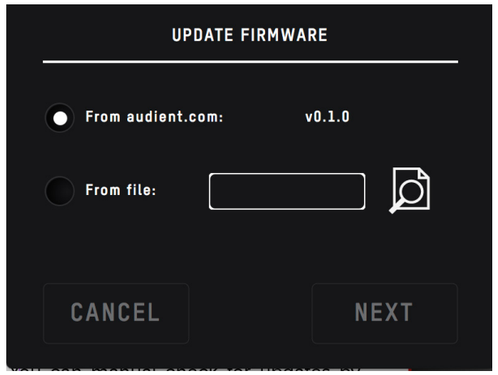
プレイバックの安定度や CPU への負荷が心配な場合は、バッファーサイズを 256 サンプルに設定してください。トラッキング（録音時）は、低いレイテンシーやバッファーサイズをお試しください。
バッファーサイズは、使用しているコンピューターのスペックや、プロジェクトの重さに影響されます。

「iD ミキサー」の起動と、ファームウェアのアップデート
「iD ミキサー」ソフトウェアは、以下のフォルダーに保存されています。
（Macintosh でドックに表示されていない場合は、メニューバーの右上に駐留している可能性があります）

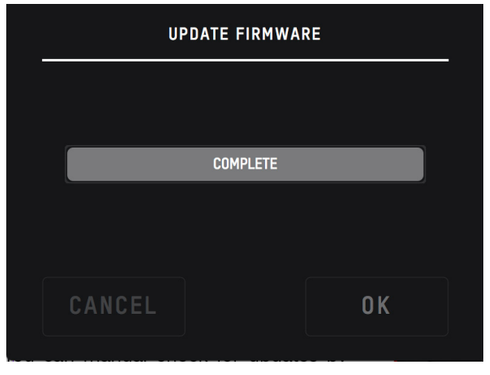
【Macintosh の場合】
Macintosh HD > Applications > iD

【Windows の場合】
スタートメニュー > Audient > iD

ファームウェアのアップデート
ファームウェアのアップデート方法は 2 通りあります。
●「iD ミキサー」ソフトウェア上から更新情報を確認し、直接アップデートする。
● メニューの「From file」から、ディスク上に保存された最新ファームウェアのファイルを使用する。

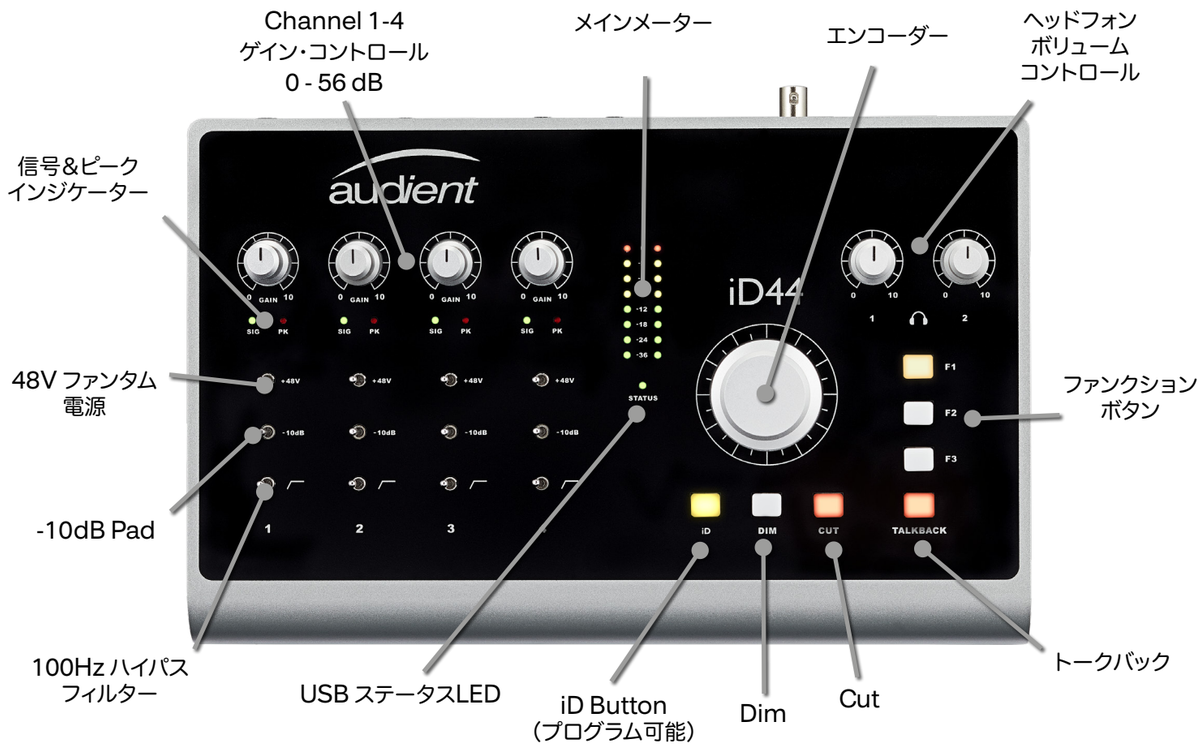


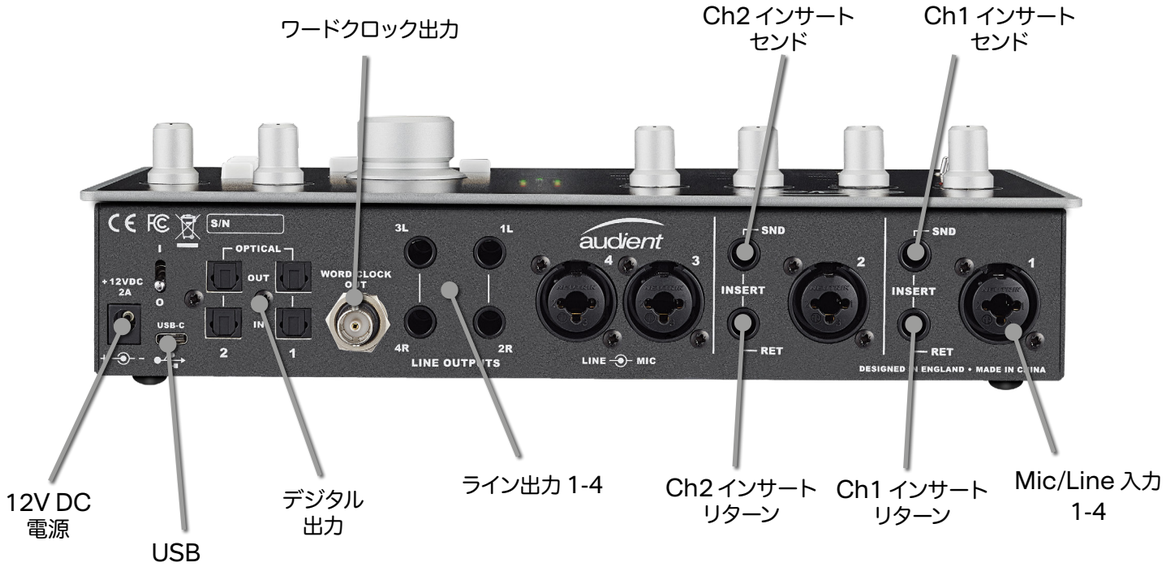
「iD ミキサー」上で更新情報を確認すると、最新バージョンが図のように表示されます。NEXT をクリックするとアップデートが続行されます。続く画面でUPDATE をクリックし、アップデートが完了したらウィンドウを閉じます。アップデートが完了したら、iD44の電源を一度オフにし、再起動してください。



ハードウェア概要

audient
iD44
F1
F2
F3
TALKBACK
iD
DIM
CUT
STATUS
1
2
3
4


Channel 1-4
ゲイン・コントロール
0 - 56 dB
メインメーター
エンコーダー
ヘッドフォン
ボリューム
コントロール
信号&ピーク
インジケーター
48V ファンタム
電源
-10dB Pad
100Hz ハイパス
フィルター
USB ステータスLED
iD Button
（プログラム可能）
Dim
Cut
トークバック
ファンクション
ボタン
audient
iD44
F1
F2
F3
TALKBACK
iD
DIM
CUT
STATUS


ワードクロック出力
Ch2 インサート
センド
Ch1 インサート
センド
12V DC
電源
USB
デジタル
出力
ライン出力 1-4
Ch2 インサート
リターン
Ch1 インサート
リターン
Mic/Line 入力
1-4
audient
INSERT
SND
RET
LINE OUTPUTS
LINE MIC
OPTICAL
WORD CLOCK OUT

マイク入力（プリアンプ）&ライン入力（MIC ／ LINE　1 ～ 2）

iD44 のアナログ入力には、Audient コンソール直系のマイクプリンプが搭載されています。
ディスクリートクラス A 回路を採用し、低ノイズで極めて歪みの少ないサウンドを生み出します。音質的には、スピード感に溢れ、さらにオープンで正確なディテールが特徴です。

入力端子にはマイク／ラインどちらにも対応できるように、Neutrik 製の XLR ／ TRS コンボ・ジャックを採用しました。ライン信号もパッドされて（信号レベルを下げて）マイク･プリアンプ回路を経由します。パッド､位相､ハイパス・フィルターの各機能も使用できます。この設計は広いレンジの入力信号をオーバーロードすることなくアナログ入力することが可能になります。

コンボ入力の TRS 端子にフォン端子を接続する場合は、必ず TRS フォン端子の物を使用してください。
TS 端子を接続するとノイズの原因となります。
TS 端子を接続する場合は、DI 入力を使用してください。

マイクプリアンプの仕様

● 60dB のクリーン・ゲイン

● 48V（± 4V）ファンタム電源 （チャンネル毎／10mA）

● > 2.8k Ω 入力インピーダンス：マイクの種類に関わらず、パンチのあるサウンドが得られるインピーダンスに設定しました。

● -10dB パッド：入力ヘッドルームのシーリングを高くします。

● ハイパス・フィルター（100Hz 固定）

Ch1 と ch2 には、アウトボード（外部機器）を接続する為の SEND（センド）RET（リターン）が備わっています。

楽器入力（D.I）

Ch1 と ch2 の「D.I」入力端子は、JFET ベースのクラス A ／ディスクリート・デザインの楽器用入力です。

この TS（アンバランス–チップ、スリーブ）ジャックに接続すると、楽器入力になります。この入力はマイク／ライン入力よりも優先され、チャンネルの -10dB パッド、ハイパス・フィルターを経由してから出力されます。

バランス（SEND ／ RET　1 ～ 2）

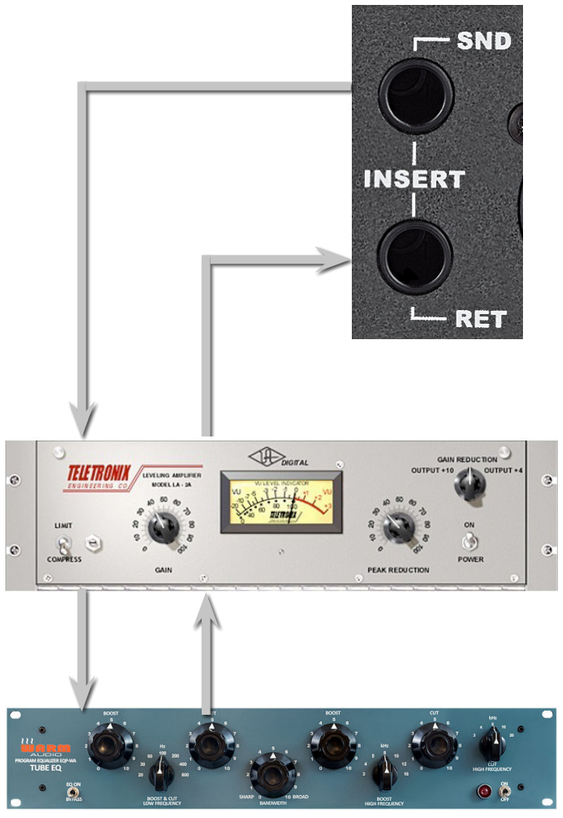
マイクプリアンプ回路を経由した入力信号は、インサートの SEND（センド）に送られます。

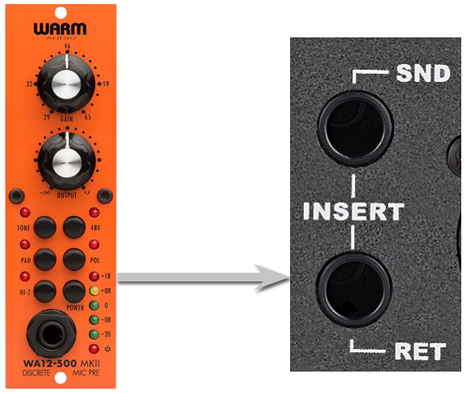
センド／リターン共にバランス入出力回路で、ch1 と ch2 の各チャンネルにそれぞれ独立して用意されています。コンプレッサーや EQ をインサート接続して、入力信号を整える事ができます。

インサートを使用しない時、この入出力回路は直接接続されます。センド／リターンをパッチ接続する必要はありません。また、インサートはリターンに接続した時のみ信号がカットインされるため、センドから出力される信号をパラレル出力として使用する事もできます。

インサート接続

iD44 の SEND（センド）と外部機器（コンプレッサー等）の入力を接続し、外部機器の出力と iD44 の RET（リターン）を接続してください。





AD コンバーターへのダイレクト接続

RET（リターン）端子に入力された信号は、ダイレクトに AD コンバーター回路に入力されます。
信号経路によるサウンドへの色づけがない純粋な AD コンバーター入力です。
他のマイクプリアンプや外部アウトボードを使用する場合には、この端子から DAW へ信号入力することをお勧めします。2 ミックスを iD44 から出力してコンプレッサー等を経由しリターンに戻す、バス・コンプレッションのような使い方も可能です。

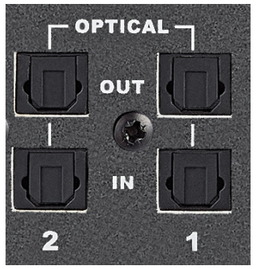
キャリブレーションのレベル：0dBFS = +18dBu

デジタル入出力

iD44 には、2 つのオプティカルのデジタル入出力が搭載されています。

各デジタル端子は ADAT（最大 8ch）と SPDIF（2ch）どちらにでも使用可能で、切替えは「iD ミキサー」のソフトウェアから行います。両フォーマットでも最大サンプルレートは 96kHz です。

8ch マイクプリアンプ（Audient ASP800 等）を 2 台、ADAT 接続すると、アナログ入力と合わせて最大合計 20ch の入力が可能になります。また、ADAT 出力から 8ch のヘッドフォン・アンプや DA コンバーターに接続して、モニタリング機能を拡張することもできます。



ADAT は 88.2 ／ 96kHz で使用する場合は、使用可能チャンネル数が半分（4 チャンネル／ 1 口）に減ります。

ワードクッロック出力

iD44には、複数のデジタル機器のクロックを統制するために便利なBNC出力端子が備わっています。

この出力からは、動作中にサンプルレート（44.1～96kHz）と同じクロック信号が出力されます。
Internalと外部クロックどちらでも同様に出力されます。

クロックの設定

外部デジタル機器と接続する時、それらが全てシンク状態になっている必要が重要です。
そのためには、1台がマスターに設定されている必要があります。マスターは1台しか存在せず、その他の機器はマスターに従ってシンクします。

マスタークロックは、オプチカル端子またはBNC端子を通して送られます。
クロック信号は一方向にのみ送られます。

マスタークロックを設定する

マスタークロックに最も適しているのは、オーディオ・インターフェースのようにコンピューターに直接されている機器です。この場合、DAWソフトウェアを開くとインターフェースのクロックがプロジェクトにマッチされます。その後、スレイブ機器をマスターのサンプルレートに合わせます。

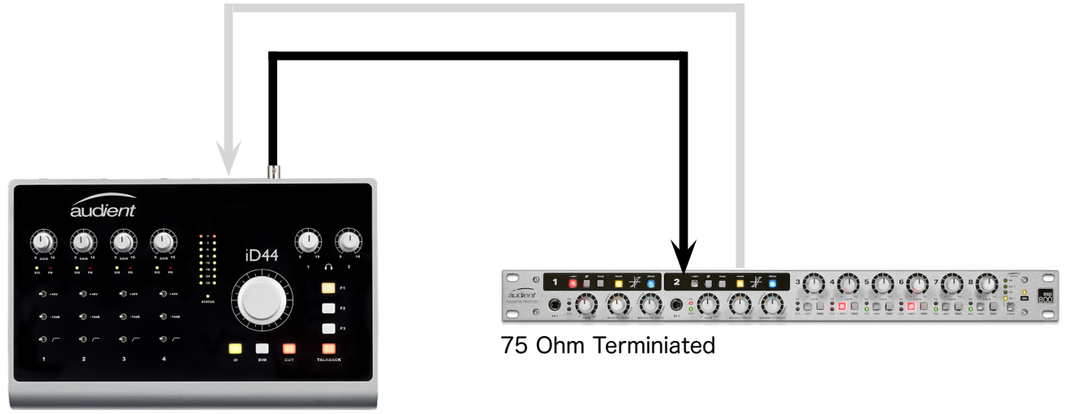
iD44をマスタークロックとして使用する

iD44をマスターに設定した場合、クロックは、オプチカル端子またはBNC端子を通して送られます。
1台のみ接続する場合には、オプチカル経由での接続が最もシンプルです。iD44のオプチカル出力端子と、接続機器のオプチカル入力端子を、TOSlinkケーブルで接続してください。
接続後、接続機器をスレイブに設定します。

複数の機器を接続する場合には、BNC端子を使用する事を推奨します。T型コネクターを使用して、全ての機器をデイジーチェーン接続すると便利です。

デイジーチェーン接続する場合、クロック信号の反射を防ぐため、最後の機器が 75Ωでターミネートされている事が必要です。この機能は、多くの機器では、オプションとして選択できます。

iD44 with Single BNC Connection



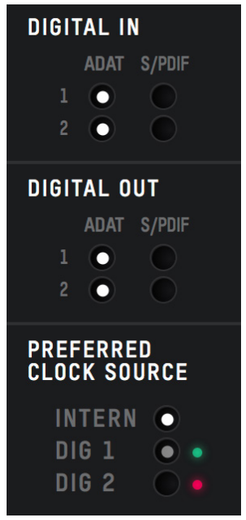
iD44 with Daisychained BNC connection

Optical TOSlink Cable　　BNC Word Clock Cable

iD44をスレイブとして使用する

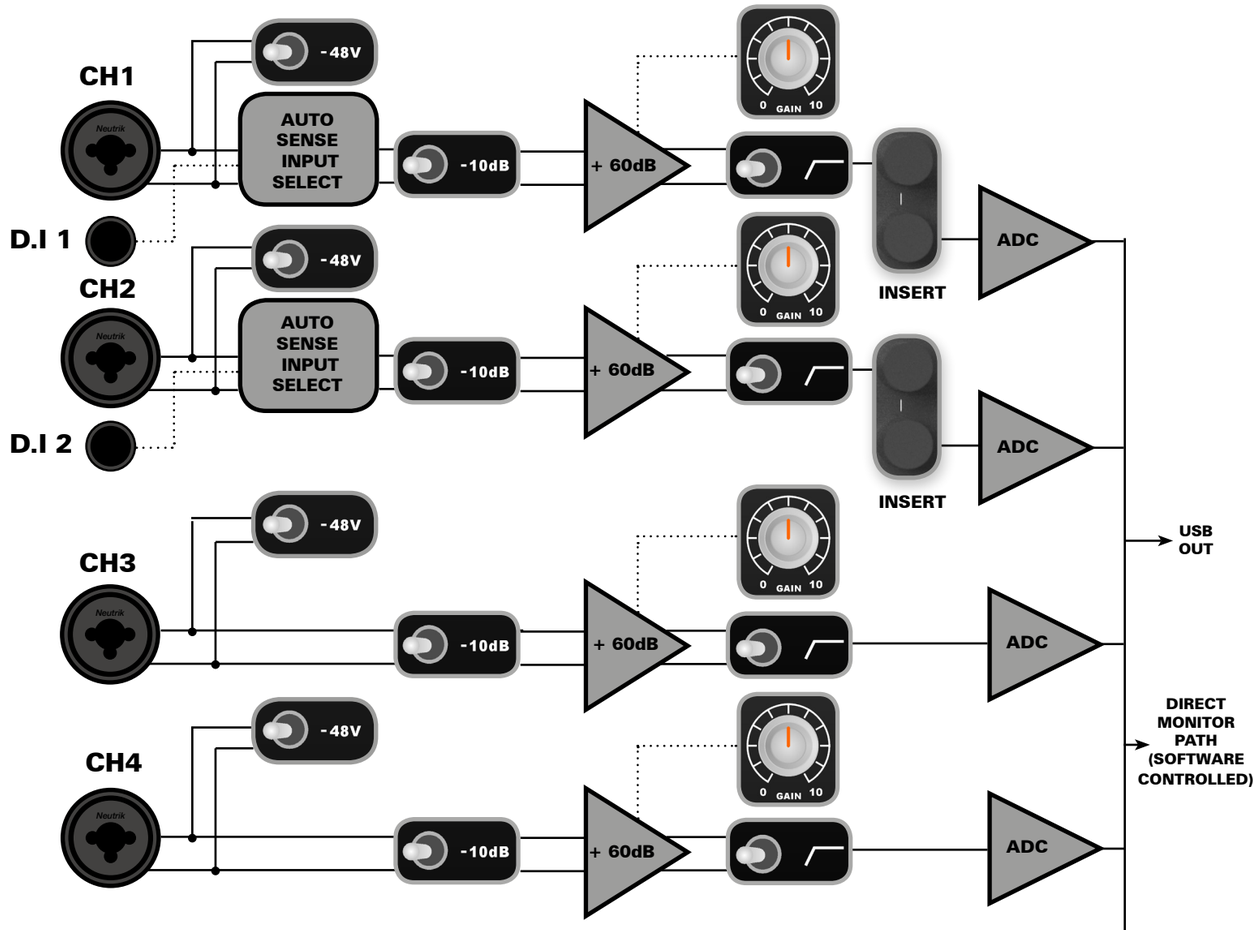
iD44を、外部のマスタークロックに対してスレイブとして使用する事も可能です。
外部クロックはオプチカル端子経由でのみ受ける事ができます。
BNC端子は、クロック出力のみです。

外部機器のオプチカル出力端子と、iD44のオプチカル入力端子を接続し、「iDミキサー」でクロックのソースを選択します。(ADATまたはS/PDIF)



iD44 clocked via the Optical Port

クラス A マイクプリ、インサート、A/D コンバーター、オプティカル入力のブロックダイアグラム



Input Specs

Microphone Input
XLR Combi Female
Pin 1: Chassis Ground Pin
Pin 2:Hot (+ve)
Pin 3: Cold (-ve)
Input Impedance: >3k ohm
Maximum Input Level: +22 dBu

Line Input
1/4" TRS Combi Jack
Tip: Hot (+ve)
Ring: Cold (-ve)
Sleeve: Chassis Ground
Input Impedance: >10k ohm
Maximum Input Level: +32dBu

DI Input
1/4" TS Jack
Tip: Hot (+ve)
Sleeve: Ground
Input Impedance: >1Meg ohm

Insert Sends
1/4" TRS Jack
Tip: Hot (+ve)
Ring: Cold (-ve)
Sleeve: Chassis Ground
Output Impedance: >100 ohm
Maximum Output Level: +22 dBu

Insert Return
1/4" TRS Jack
Tip: Hot (+ve)
Ring: Cold (-ve)
Sleeve: Chassis Ground
Input Impedance: >10k ohm
Maximum Input Level: +18 dBu
Digital Reference: 0dBFS = +18dBU

Optical Inputs
TOSLink Optical Connector
ADAT: 8 channels @ 48kHz
ADAT SMUX: 4 channels @ 96kHz
S/PDIF: 2 Channels @ All sample rates

スピーカー出力（ライン出力と DAC）

iD44 には合計 4 つのアサインできる TRS バランス出力端子があります。インピーダンス調整は、audient のフラッグシップ・コンソール「ASP8024」の技術を用いて行われています。

これらの出力からは高品位の DAC（デジタル／アナログ・コンバーター）を経由したサウンドが送られるため、クリアーでリニアなサウンドをモニターから出力します。
出力アサインは、「iD ミキサー」のソフトウェア上で、トラッキングやミックス時の目的に応じて設定可能です。

この TRS 端子にフォン端子を接続する場合は、必ず
TRS フォン端子の物を使用してください。
TS 端子を接続するとノイズの原因となります。

ヘッドフォン出力

接続するヘッドフォンのインピーダンスの影響を受けにくい、ディスクリート高電流型ヘッドフォン・アンプを搭載しました。ヘッドフォン出力用に独立した DAC を設け、非常に高い音質を確保しています。
ヘッドフォン出力へ送る音声は、「iD ミキサー」のソフトウェア上でアサインします。

モニターコントロール

iD44 は Audient の大型コンソールと同等のモニタリング・コントロール機能を搭載しています。各モニターの音量は、iD44 本体のカスタムアルミ製のボリューム・コントローラー（MONITOR）で操作できます。ボリュームレベルの設定値による音質変化やステレオ・イメージの「ふらつき」は全く無く、どのポジションでも非常に安定したモニタリングを提供します。

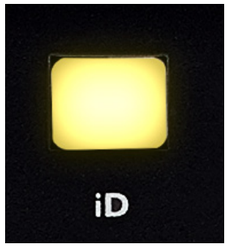
DIM と CUT のスイッチは、ボリュームと連動した機能です。DIM の減衰レベルや ALT 出力の音量トリムは、「iD ミキサー」のソフトウェア上で設定します。
3 つのファンクション・キーを、モニターコントロール用の機能にアサインする事も可能です。

モニターコントロールの特徴

- ボリュームのコントロール（100% ステレオ・マッチング）
- 独立した出力レベルが設定可能な ALT 出力
（ファンクション・キーにアサイン可能）
- DIM（減衰レベルの設定が可能）
- CUT
- Mono Sum（ファンクション・キーにアサイン可能）
- 位相反転（ファンクション・キーにアサイン可能）

Mono Sum や位相反転を使用すると、ステレオのチャンネルをモノラルで合算出力した時のサウンドの試聴や、お気に入りの音源で使用されている空間的なトリックを確認できます。

iD ボタン



iD ボタンには iD44 の特筆すべき機能の一つ『Scroll Control モード』がアサインされています。エンコーダーにスクロール・ホイール機能をアサインして、DAW のオートメーション等、様々な機能へのアクセスが可能になります。

使用する DAW やプラグインによってスクロールの仕方が変わります。パラメーターの変更が急すぎる場合などには、コンピューター側でスクロールのスピードを調整してください。

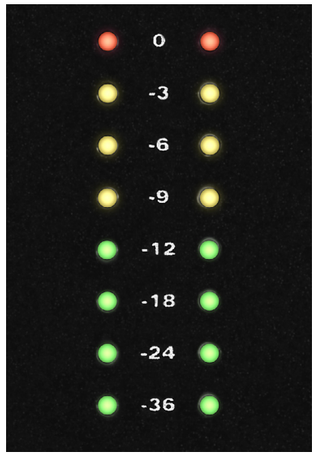
トークバック

トークバックへのアサインは、4 アナログ入力& 16 デジタル入力のどのチャンネルからも選択する事ができます。

トークバックにアサインされたチャンネルは、Cue ミックスを通してミュージシャンに送られます。
また、トークバックにアサインしたチャンネルを別の機種に送り、その機種のマイク入力として使用したり、別のオーディオ・インターフェースに同時に信号を送ったりする事もできます。

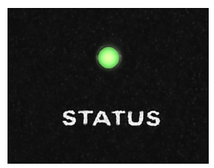
メーター

この LED メーターは、「iD ミキサー」ソフトウェア上のメイン・ミックスのメーターと同じ出力レベルを表示しています。入力レベルの確認は、DAW 側のメーターで行ってください。



ステータス LED

STATUS の LED は、iD44 とコンピューターの USB 接続状態を表示します。



Kensington ロック

iD44 の側面には Kensington ロック取付け用の穴があります。学校や設備で使用する際の盗難防止に活用できます。

ソフトウェア概要

入力チャンネル（チャンネルの種類）

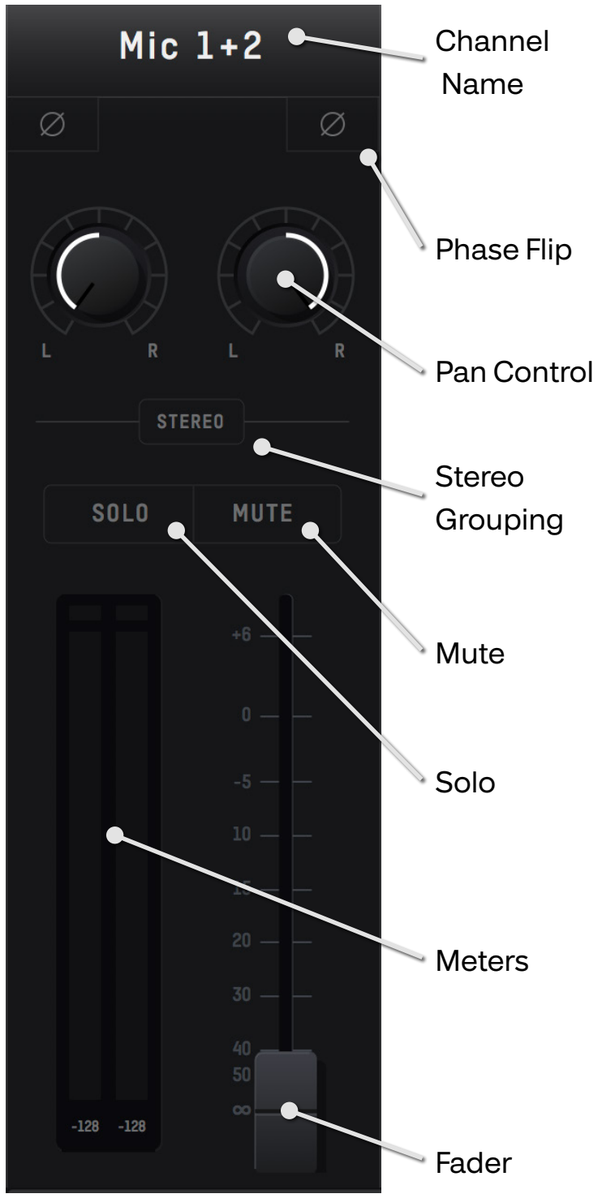
「iD ミキサー」の各チャンネルは、3 種類の種類に分類されます。

・アナログ入力
4ch の入力（インサートのリターン）からの信号等で、AD コンバーターを通過した信号です。「マイク入力」「ライン入力」「ch2 の D.I」「インサートのリターン」へ入力された信号です。

・デジタル入力
オプティカル端子に入力された信号。入力の数は、ADAT と S/PDIF どちらを選んでいるかと、そのサンプルレートによって変化します。

・DAW リターン
DAW から出力される、4 組（8 チャンネル）のバーチャル・ミックスです。iD44 は 8 チャンネルのリターン設定が可能ですので、Cue ミックスなど作成する事も可能です。

これらのミックスは、DSP ミキサー上、cue ミックスまたは DA コンバーターを通過した信号として出力端子からモニターすることができます。
これらのミックスはモニターのみをコントロールし、DAW などソフトウェアの音量設定には影響しませんのでご注意ください。



チャンネル機能

Channel Name(チャンネル名)
大型コンソールにトラック名をテーピングする様に、各チャンネルに名前を付けることができます。

Phase Flip(位相反転ボタン)
ステレオ音声の片チャンネルの位相（左チャンネル）を反転させます。この機能はファンクション・スイッチに割り当てる事ができます。

Pan Control(パンのコントロール)
メイン・ミックスや Cue に送られる信号のパン（左右の定位バランス）を調整します。

Stereo Grouping(ステレオ・リンク / グループ設定)
全てのチャンネルがステレオ・リンク可能です。レベルのコントロールは 1 つになりますが、PAN は両チャンネルとも定位の設定は可能です。

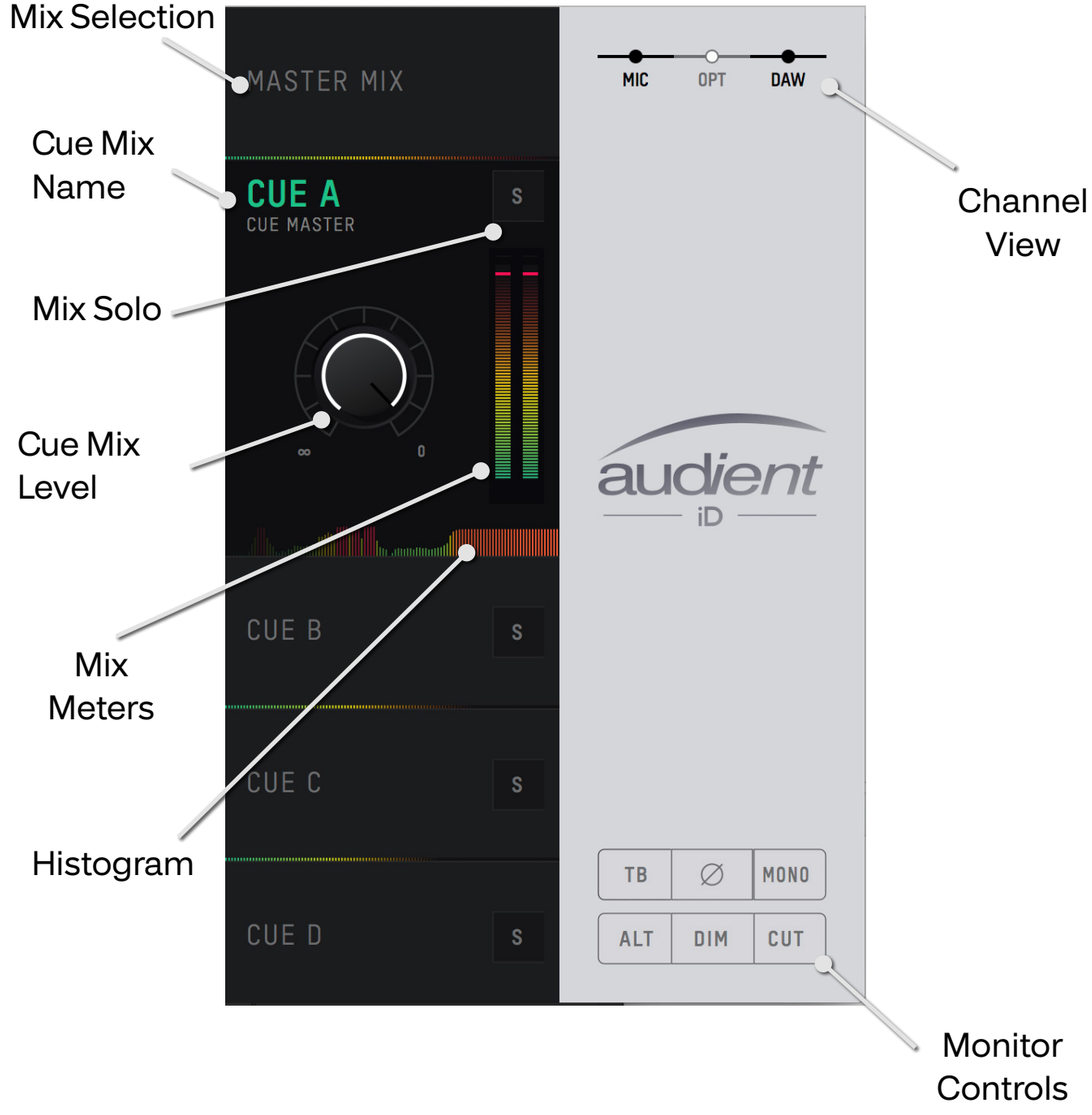
Solo（ソロ）
SOLO 選択されたチャンネル以外が全てミュートされます。複数を同時に SOLO 設定可能。

Mute（ミュート）
選択されたチャンネルがミュートされます。

Fader(フェーダー)
信号の量を調整します。
範囲：- ∞ 〜 +6dB

Meter(メーター)
信号レベル表示します。ピークホルド機能により、一度信号がピーク（0dBFS）に達するとピーク表示が点灯し続けます。ピーク表示をクリックすると、ピーク情報の表示がリセットされます。

マスターセクション機能



Mix Selection(ミックスの選択)

ミックスを選択すると、全てのパラメーターが設定に従い変化します。

Cue Mix Name(Cueミックスの名前)

ダブルクリックすると、Cue ミックスの名前を変更できます。

例えばバンドメンバー毎に Cue ミックスを作成した場合、「ギタリスト」「ドラマー」など個別に名前を付ける事ができます。

Mix Solo(ミックスのSOLO)

SOLO 選択されたミックス以外が全てミュートされます。
複数を同時に SOLO 設定可能。

Mix Pan(ミックスのパン・コントロール)

マスターのパン（左右の定位バランス）を調整します。

Mix Meters(ミックスのメーター)

選択されたミックスの信号レベルを表示します。

Histograms(ヒストグラム)

現在から数秒前までの信号レベルを表示します。特定のミックスで発生したピークの検知や、レベルの調整に便利です。

Channel View(チャンネル表示ボタン)

使用チャンネルのレイアウト・カスタマイズが可能です。

使用例：デジタル入出力を使用していない場合：
OPTICAL をオフにすると「デジタル入力」がミキサー上から消えます。

Monitor Controls(モニター・コントロール)

6 つのスイッチが、モニターに関するファンクションをコントロールします。

- **TB (トークバック)**

  トークバックのオン／オフを行います。
  トークバックの設定は、「システムパネル」で行います。

- **ø (位相反転)**

  ステレオ音声の片チャンネルの位相（左チャンネル）を反転させます。

- **Monoモノラル)**

  ステレオ信号を、モノラル信号にサミングします。

- **Alt（スピーカー出力切替え）**

  出力を切替えます。モニタースピーカーを複数ペア接続している場合に便利な機能です。切り替える出力は、「システムパネル」で設定します。

  Dim（音量の減衰）

  オンにすると、プリセットされた音量分、減衰します。

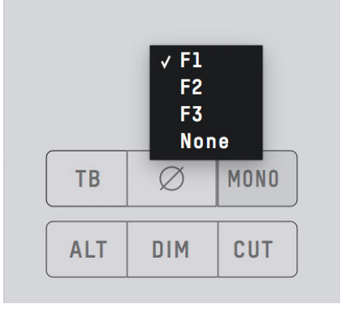
- **Cut（カット）**

  全てのモニター出力がミュートされます。

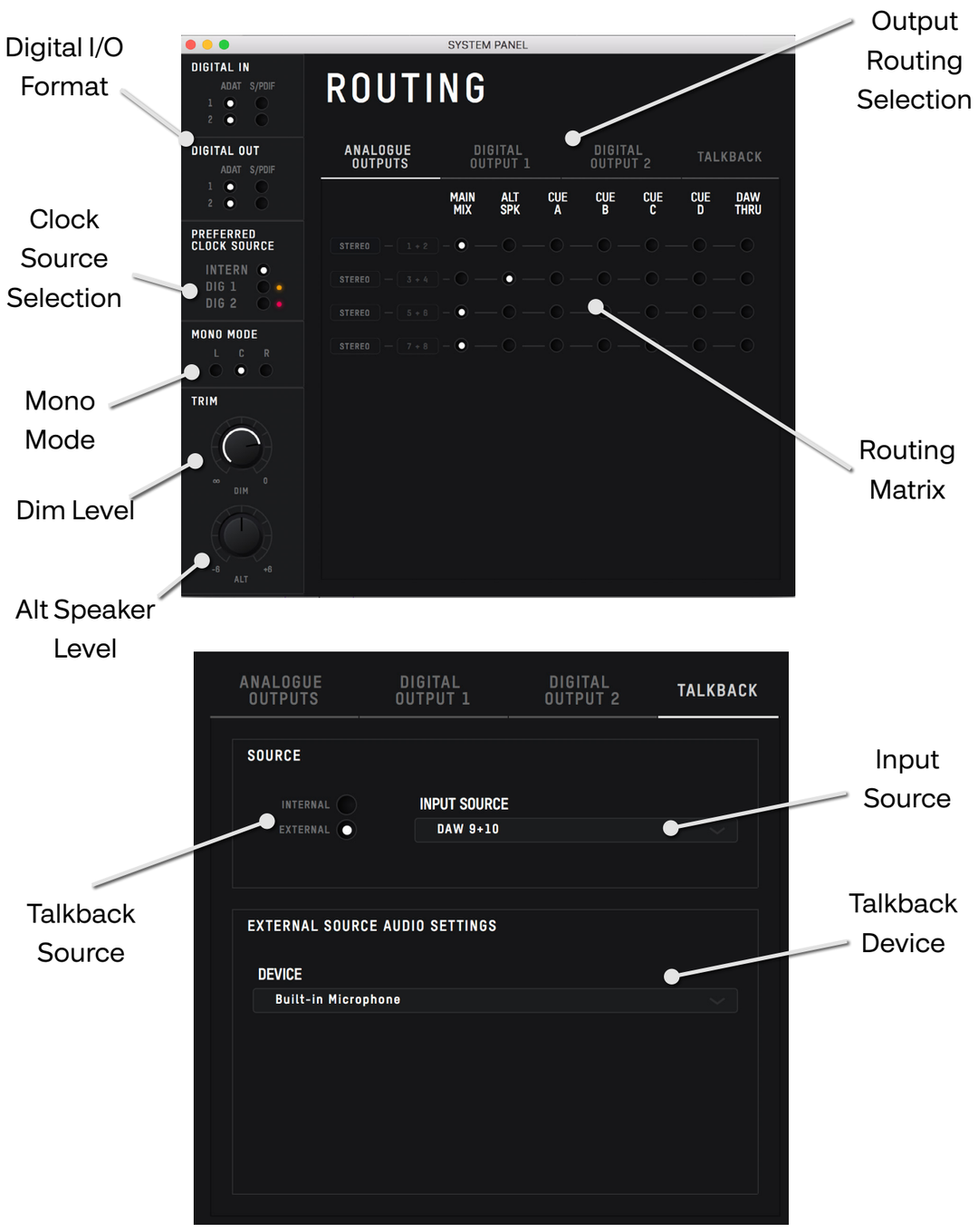
F キーの設定方法

本機のファンクション・スイッチには、様々な機能を割り当てることができます。

「iD ミキサー」上でこのスイッチに割り当てたい機能を右クリックし、スイッチ番号（F1 ～ F3）を選択します。



システムパネル



システムパネルの機能

Digital I/O Format(デジタル入出力のフォーマット)

デジタル入力（オプティカル）のフォーマットを設定します。

Clock Source Selection(クロックのソース)

クロックのソースを「内部クロック（INTERNAL)」と「外部のクロック（OPTICAL)」から選択します。
インジケーターが外部クロックと正常にロック（同期）を表示します。

- 赤色：問題が発生しています。接続や設定を確認してください。
- オレンジ：クロック信号は入力されていますが、サンプルレートが異なっています。
- 緑色：正常な接続が確立しています。

Alt Speaker Level(ALT出力のレベル)

ALT出力のレベルを設定します。
異なる複数メーカーのスピーカーを使用した時のレベル調整にも便利な機能です。

Output Routing Selection(出力ルーティング設定)

「iD ミキサー」の各出力を、どのアナログ 出力、デジタル出力、またはトークバックにルーティングするかを決めます。

Mono Mode(Mono モード)

Mono Sum をオンにした時の、スピーカーの定位を設定します。

- L／R：選択した側のスピーカーのみ鳴らします。
- C：2 台のスピーカーで擬似的なモノラルをセンター定位で再生します。

Dim Level(DIM のレベル)

DIM時のレベルを設定します。

Routing Matrix（ルーティング設定）

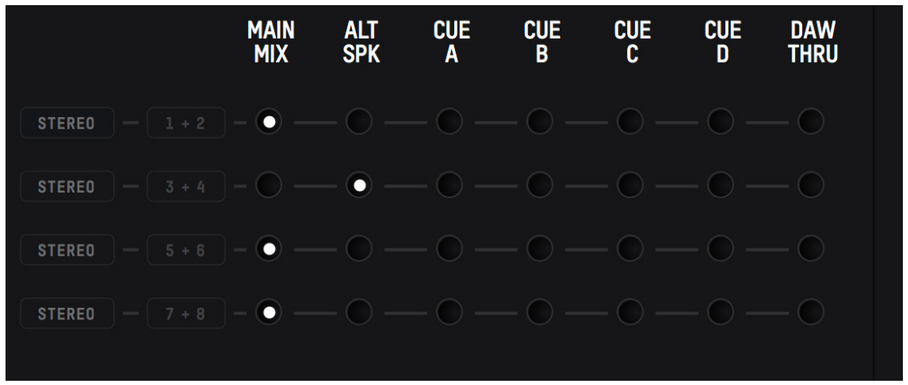
ルーティング画面で、「iD ミキサー」の各出力に、以下のどのソースをルーティングするかを決めます。

• Main Mix：
「iD ミキサー」のマスター・ミックス。最もスタンダードなプレイバック・ソースです。

• ALT：
Main Mix と同様に「iD ミキサー」のマスター・ミックスをソースとしますが、ALT モードがオンの時のみルーティングされます。

• Cue A ～ D：
4 つの Cue ミックスから選択した 1 つをソースにします。Cue ミックスのマスター音量は Cue Mix でコントロールされ、iD44 のハードウェア・ボリュームは効きませんのでご注意ください。

• DAW THRU：
オーディオ・ドライバーから信号を直接ルーティングされるため、「iDミキサー」上の全てのコントロールをスルーします。アウトボードやモニターコントローラーなどフル・ラインレベルの出力が要求される時に便利なソースです。



トークバック

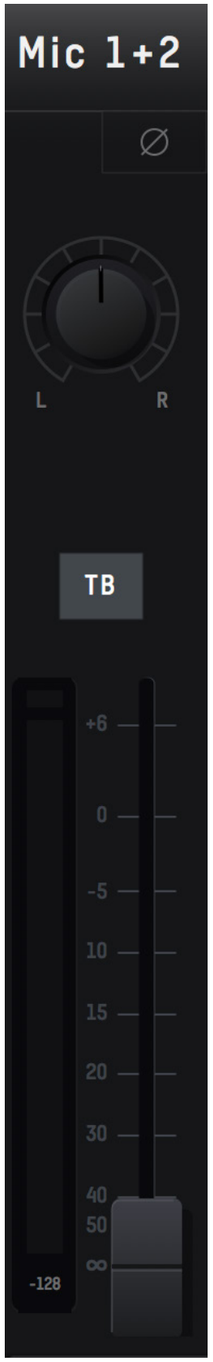
トックバックのソース：

Internal：
「iD ソフトウェア」上で選択できるソースから選択します。

External：
コンピューターに接続された外部機器（内蔵マイクやUSBマイク等）を、トークバック用に使用できます。

入力ソース
トークバックとして使用するソースを、プルダウンメニューから選択します。

トックバックのデバイス
External 選択時、どのデバイスを使用するかを選択します。



プリセットのセーブ&ロード

ミキサーの設定を、プリセットとしてセーブ＆ロードする事ができます。

- システム画面の下部にある「SAVE」「LOAD」をクリック。
- キーボードのショートカットを利用する。

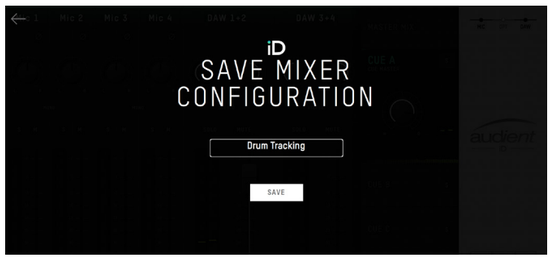
セーブ： Mac：Command (⌘) + S
Windows：Ctrl + S

ロード： Mac：Command (⌘) + O
Windows：Ctrl + O

プリセットの保存

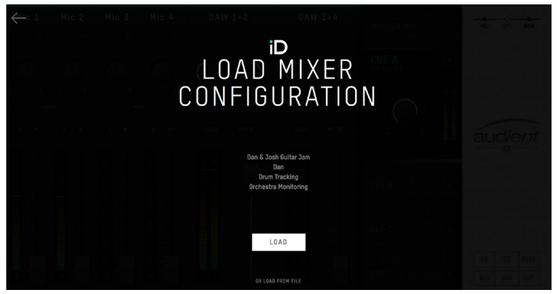
「File > Save」をクリックすると、プリセットのセーブ画面が表示されます。プリセットに名前を付けて保存してください。

セーブ画面で「Export Mixer Configuration」を選択すると､任意のフォルダーに保存ができます｡名前を付けて、確認しやすいロケーションに保存してください。



プリセットの呼び出し

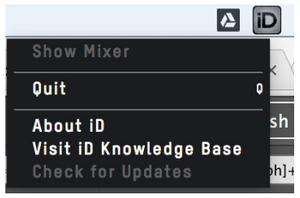
「File > OPEN」をクリックすると、プリセットのロード画面がリスト表示されます。ロードしたいプリセットを選択してください。
ロード画面で「Load From File」を選択すると、任意のフォルダーに保存されたファイルから直接プリセットをロードできます。



メニュー／タスクバーのアイコン

MacOS

Mac OS では iD アイコンが画面右上のメニューバーに表示されます。こちらをクリックして「iD ミキサー」にアクセスします。



Quit

「iD ミキサー」を終了します。

About iD

「iD ミキサー」のバージョン情報を表示します。

Visit iD Knoweldge Base

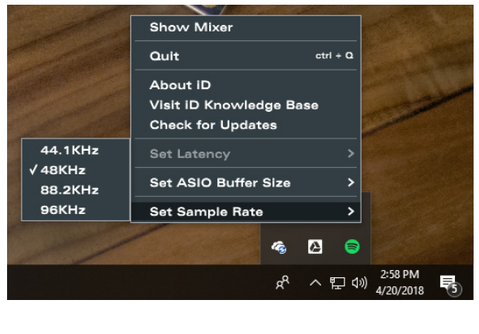
Web ブラウザを開き、FAQ が掲載された Audient Helpdesk（英語サイト）にアクセスします。

Check for Updates

Audient のサーバーに接続し、ファームウェアのアップデートが有無を確認します。

Windows

Windows のタスクバーに表示されるアイコンから操作できる基本内容は、Mac OS 版と同じです。さらに追加機能もあります。



Set Sample Rate

サンプルレートの設定を行います。設定可能なサンプルレートは、44.1、48、88.2、96kHZ です。

Set ASIO Buffer Size

ASIO のバッファーサイズを 16 ～ 8192 サンプル間に設定します。値が高い方がプロセッシングに余裕ができますが、レイテンシー（遅れ）が大きくなります。

スタンドアローン・モード

スタンドアローンのモードでは、iD44 本体に保存された設定で動作します。

設定方法：

1. コンピューターに接続し、スタンドアローンのモード時に使用したい設定を「iD ミキサー」で行います。システムパネル内のデジタル入出力、出力ルーティング、トックバックの設定も反映されます。
2. メニューの「Setup」より「Store Standalone State」をクリックすると、現在の設定が iD44 本体に保存されます。

ファームウェアのアップデート

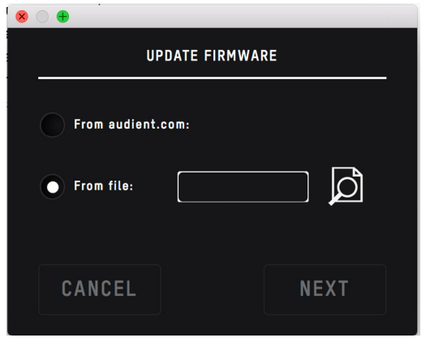
Audient では、機能の追加やバグ修正のために、ファームウェアのアップデートを行う場合があります。定期的にファームウェアの更新状況をチェックすることを勧めます。

ファームウェアのアップデート方法は 2 通りあります。

●「iD ミキサー」ソフトウェア上から更新情報を確認し、直接アップデートする。

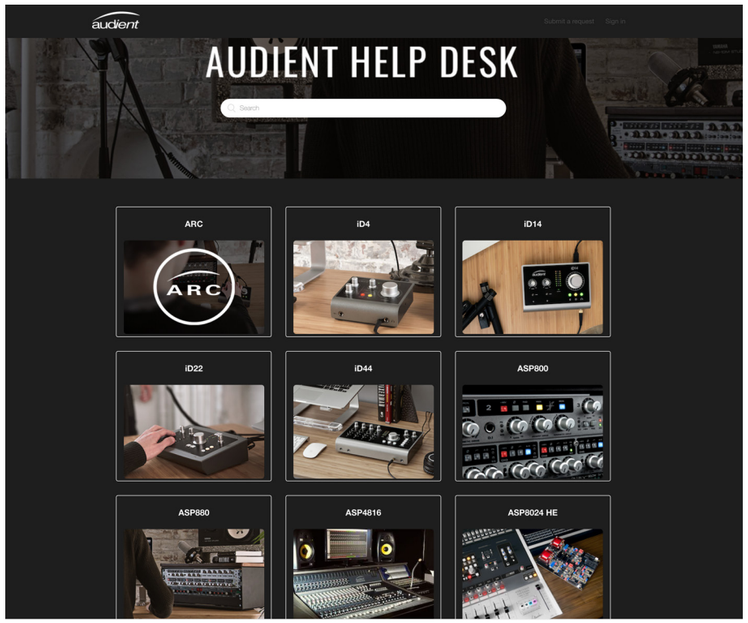
●「From file」から、ディスク上に保存された最新ファームウェアのファイルを使用する。

「iD ミキサー」のメニューから「Check for Updates」をクリックすると、更新情報が確認できます。NEXT をクリックするとアップデートが続行されます。アップデート中には、何度か iD44 が再起動することがあります。アップデートが終了したら、iD44 の電源をオフにし、数秒経ってから再び電源をオンにしてください。



Audient Helpdesk

メニューやアイコンの「Visit iD Knoweldge Base」をクリックすると、Web ブラウザが開き Audient Helpdesk（英語サイト）にアクセスします。お困りの際には、掲載されている FAQ を参考にしてください。



キーボードのショートカット一覧

キーボードのショートカットを使用して、「iD ミキサー」をコントロールできます。

Location	Mac	Windows	Description
Faders	Alt + Click	Alt + Click	フェーダーをユニティーゲイン（0dB）に設定する。
Pans	Alt + Click	Alt + Click	パンの設定をセンターに戻す。
Solos	Cmd + Click	Ctrl + Click	Solo設定された全てのチャンネルを解除する。
			Solo設定されていないチャンネル上でこの操作を行うと、既に設定されているSoloが全て解除された上で新たにSoloが設定されます。
Meters	Alt + Click	Alt + Click	全てのクリップ表示をリセットします。
Mixer Screen	Cmd + S	Ctrl + S	「iDミキサー」の状態をセーブします。
	Cmd + O	Ctrl + 0	「iDミキサー」の状態をロードします。
View Modes	Cmd + 1	Ctrl + 1	Mic/Line入力トラックの表示。
	Cmd + 2	Ctrl + 2	Optical（デジタル）入力トラックの表示。
	Cmd + 3	Ctrl + 3	DAW MIX入力トラックの表示。
	Cmd + 4	Ctrl + 4	システムパネルの表示。

ショートカットの追加は変更なく行われる場合があります。アップデートの情報はiD44の製品ページをご参照ください。

日本語ページ：www.allaccess.co.jp/audient/id44/

英語ページ：www.audient.com/products/iD44

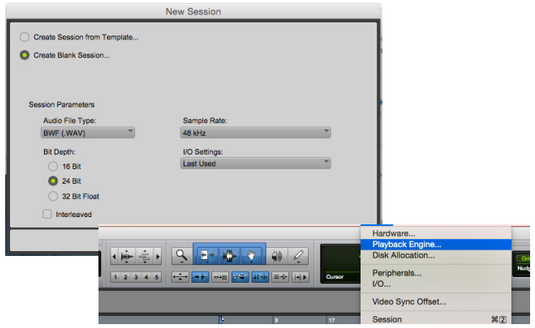
DAW セットアップ

Pro Tools セットアップ

Pro Tools と使用する場合

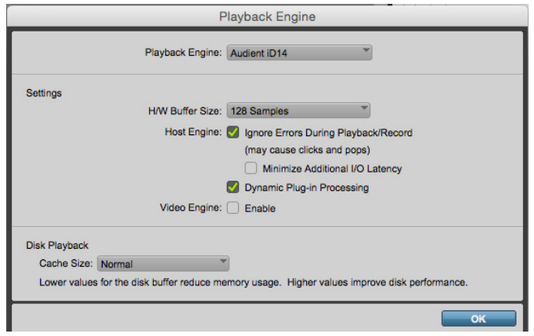
インストールが完了したら、Pro Tools を起動してサンプルレートの設定をご確認ください。外部クロックを使用する場合、両方のサンプルレートを同一値に設定してください。

Windows 版をご使用の場合は、プロジェクトを開く前に、必ず iD アイコンよりレイテンシーとバッファーサイズの設定を忘れないでください。これらの設定が Pro Tools 起動時に反映されます。



プレイバックエンジン

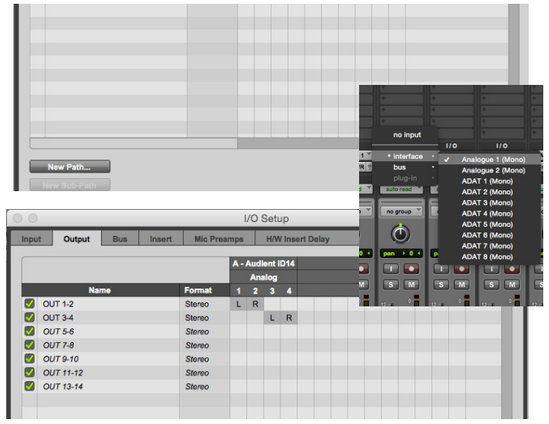
「Setup > Playback Engine」でプレイバックエンジンの設定に進みます。



I/O セットアップ

セットアップ から I/O へ進みます。
上記設定画面で、入力と出力の設定を行います。iD44 の 20 入力／ 24 出力が正しくルーティングされているかを確認してください。

※「iD ミキサー」ソフトウェア内で、Pro Tools の出力信号が 1 度バーチャル・チャンネルとして DSP ミキサーを経由するか、直接 DA コンバーターに送られるかを設定することができます。



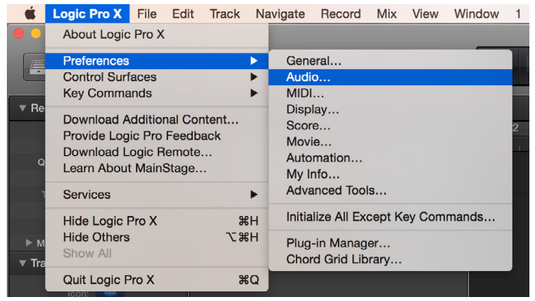
※設定に関する詳細は、Avid の取扱説明書をご参照ください。

Logic Pro セットアップ

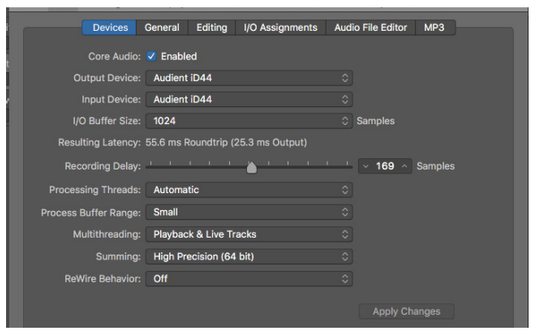
Logic Pro と使用する場合

インストールが完了したら、下記の設定画面を開いてください。

Logic Pro > Preferences > Audio



iD44 がプレイバック用デバイスとして設定されていることを確認してください。バッファーサイズの設定もこの画面で行います。「オーバーロード」警告やノイズ、サウンドの歪みなどが発生した場合は、バッファーサイズを大きく設定してください。

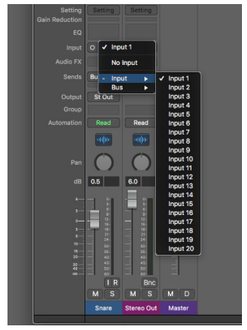


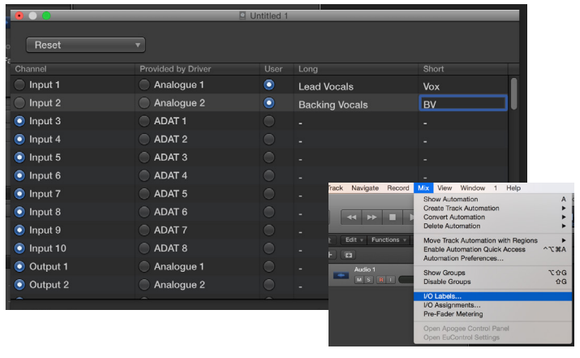
「iD ミキサー」で入力信号をモニターしている場合は、Logic のモニタープレイバック切ってください。音が二重に聴こえます。

I/O の設定

iD44 の入出力（20 入力／ 24 出力）は、全て Logic の入出力先として表示されます。
入出力の名前は I/O ラベルの画面で変更することができます。

オプション> オーディオ > I/O ラベル

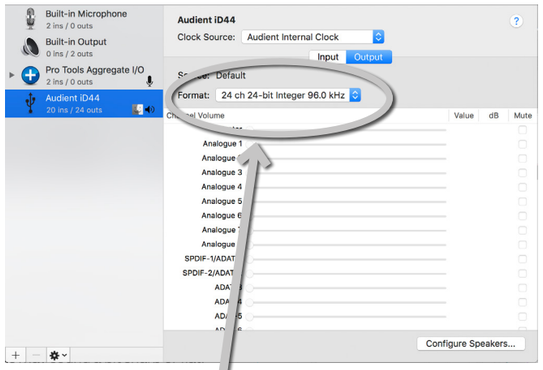


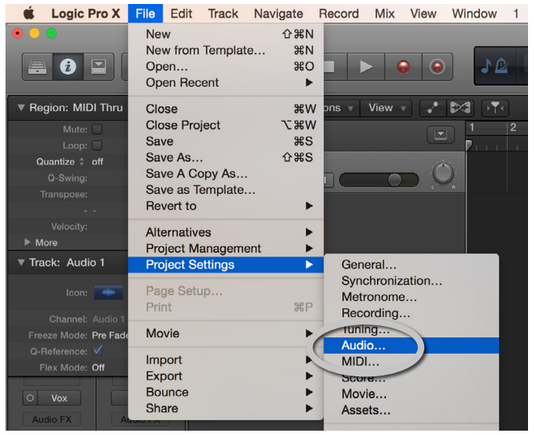


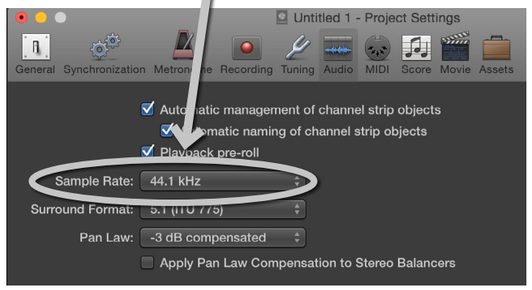
Logic Pro セットアップ

デジタル外部機器（ADAT ／ SPDIF から）をクロック・ソースとして使用する場合は、Logic Pro と iD44 のサンプルレートを同一値に設定します。

プロジェクト設定 > オーディオ >サンプルレート







※他の設定に関しては、Logic Pro の取扱説明書をご参照ください。

D44 の内部クロック（INTERNAL）をマスターにする場合は、iD44 のクロック値が Logic Pro のサンプルレート設定に追従して自動変更されます。クロック変更後、同期するために短い無動作期間がありますが、これは正常です。これらの設定は、下記の画面で設定することができます。

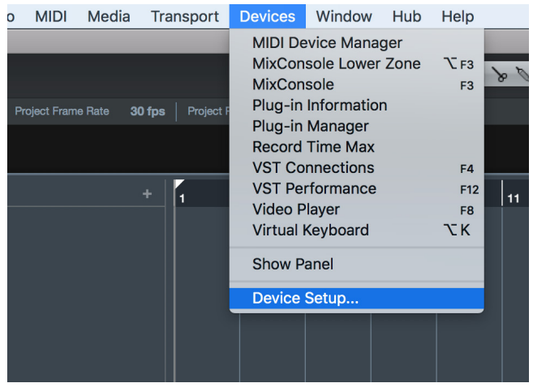
アプリケーション > ユーティリティ > Audio MIDI 設定

Cubase/Nuendo セットアップ

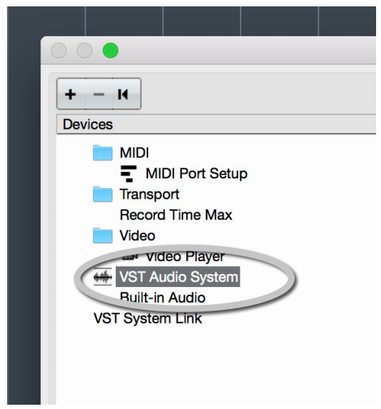
Cubase と使用する場合

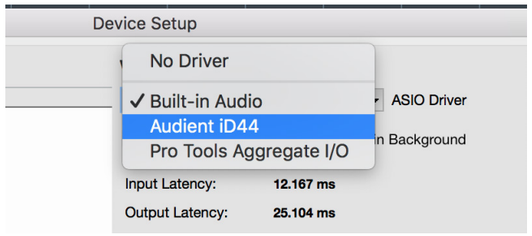
インストールが完了したら、下記の設定画面を開いてください。

デバイス > デバイス設定



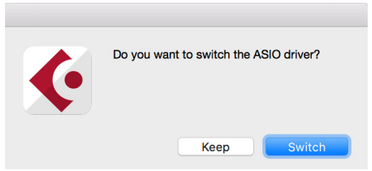
デバイスのメニューで、VDT Audio System を選択。





iD44 をデバイスとして選択します。

切り替えるかのメッセージが出たら、「はい」をクリックして切り替えます。



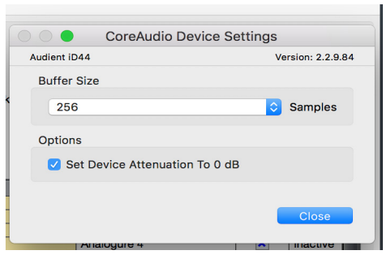
デバイスとして設定します。

バスはモノラル／ステレオどちらでも設定でき、VST コントロール・ルームの操作も可能です。

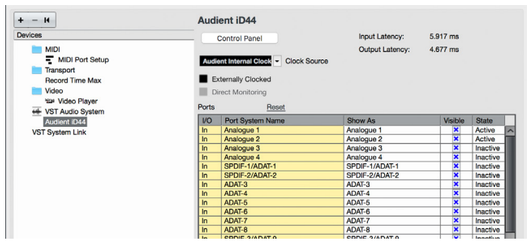
※ 他の設定に関しては、Steinberg の取扱説明書をご参照ください。

Cubase/Nuendo セットアップ

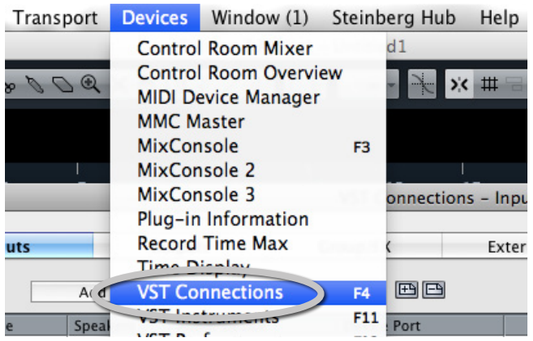
バッファーサイズの設定は、VST デバイスの画面で行います。iD44 の DSP ミキサーを入力用のモニタリングに使用すると、コンピューターの CPU の負荷を抑えることができます。I/O ポートの名称は変更できます。



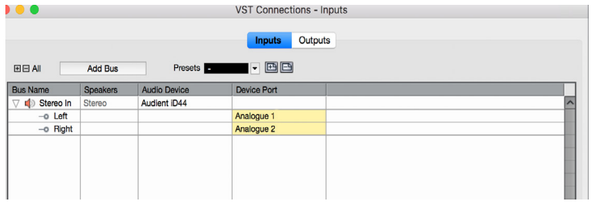
「メインモニター」「ALT モニター」など分かりやすい名前に変更すると便利でしょう。ここで変更された名称は、DAW のトラック画面上にも反映されます。



VST コネクションの画面から、Cubase ／ Nuendo 上で作成されたバスの確認や追加、それらがルーティング可能かの確認ができます



バスはモノラル／ステレオどちらでも設定でき、VST コントロール・ルームの操作も可能です。



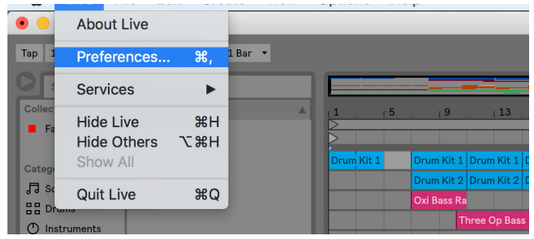
※ 他の設定に関しては、Steinberg の取扱説明書をご参照ください。

Ableton Live セットアップ

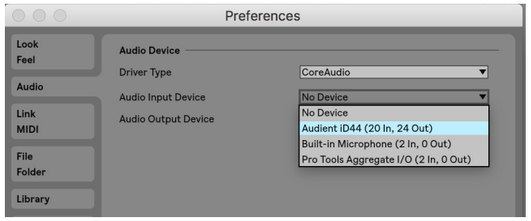
Ableton Live と使用する場合

インストールが完了したら、下記の設定画面を開いてください。

Live > Preferences

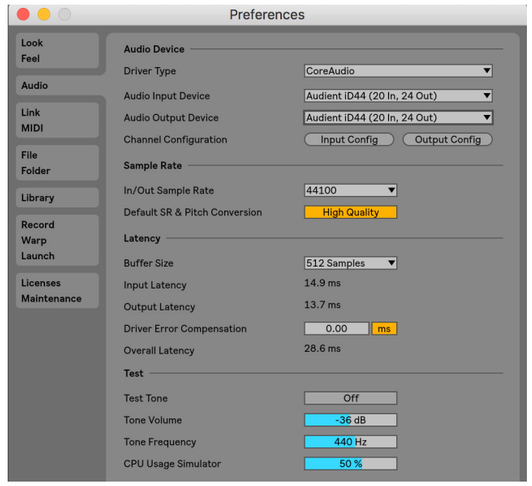


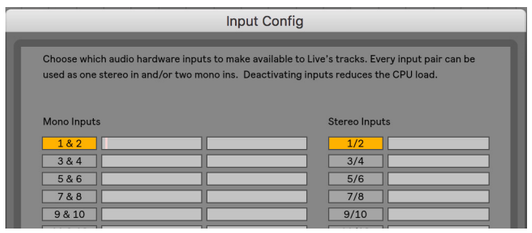
プレイバック用デバイスの設定が iD44 であることを確認してください。



バッファーサイズの設定もこの画面で行います。
「iD ミキサー」を入力用のモニタリングに使用すると、コンピューターの CPU の負荷を抑えることができます。
iD44 が 20 入力／ 24 出力のデバイスとして認識されているかをご確認ください。

必要に応じて、「入力設定」「出力設定」から I/O の入力数を変更する事も可能です。不要なチャンネルを減らすことで、CPU の負荷を軽減できます。





トラブルシューティング

電源が入らない

- 電源アダプターの接続を確認してください。
- 電源アダプターが正しく動作しているか、サービスにチェックを依頼してください。

「DAW プレイバックのサウンドにポップノイズやクリップノイズが入る」

コンピューターの性能に対して、バッファーサイズが低く設定されている可能性があります。

これは、多くのプラグインやバーチャル楽器がロードされているような、大きなプロジェクトが原因で起きます。バッファーの設定を大きく設定してみましょう。Windows の場合はレイテンシーも同時に設定してください。

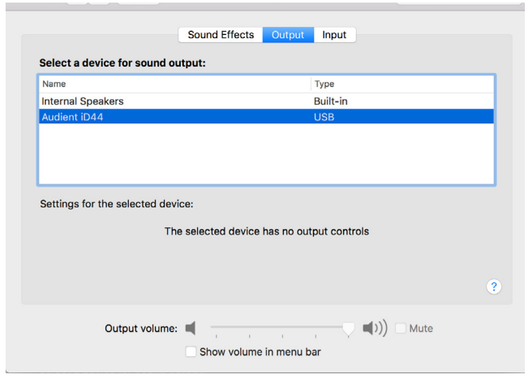
コンピューターに接続しても音が出ない

- USB ケーブルが正しく接続を確認してください。
- iD44 が出力デバイスとして設定されているか確認してください。

Mac の場合：
システム環境設定 > サウンド > 出力のタブ > USB デバイス

Windows の場合：
スタートメニュー > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > サウンド

- 「iD ミキサー」ソフトウェアを立ち上げ、コンピューターの本機認識を確認してください。
- DAW のチャンネル出力設定が、iD44 にアサインされているか確認してください。
- 「iD ミキサー」のフェーダーが上がっているか確認してください。

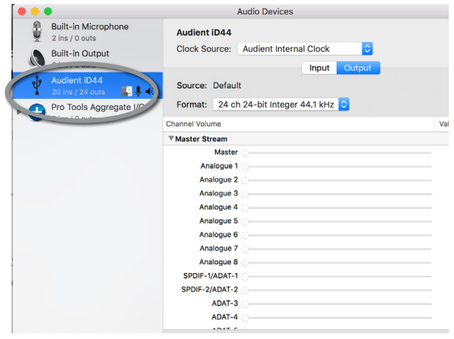


外部機器のクロックがロック（同期）しない

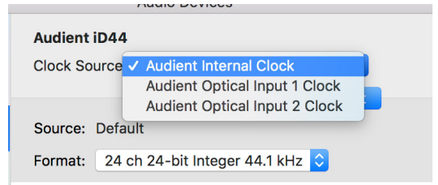
- 「iD ミキサー」内のクロックのステータスを表示するランプが赤またはオレンジに点灯している場合、クロックに問題が発生しています。
- iD44 がオーディオ・デバイスとして認識されているかを確認してください。

Mac の場合：
アプリケーション > ユーティリティ > Audio MIDI 設定

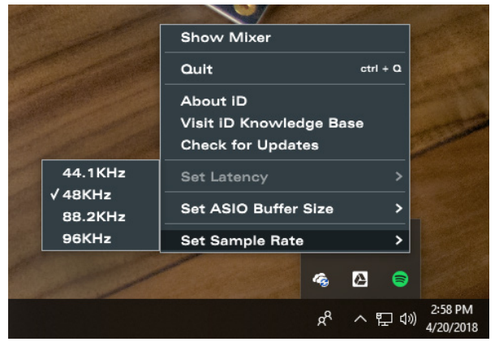
Windows の場合：
スタートメニュー > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > サウンド



- 「iD ミキサー」上で、クロックのソースが正しく設定されているかを確認してください。内部クロックをクロック・マスターにする場合は「Internal」を、外部機器をマスターにする場合は使用している入力フォーマット（ADAT または SPDIF）を選択してください。



- サンプルレートが正しく設定されているかを確認してください。DAW の設定と「iD ミキサー」の設定を同一にしてください。



トラブルシューティング

「iD ミキサー」の設定をデフォルトに戻したい

「iD ミキサー」ソフトウェアを閉じ、下記のフォルダーにある「state.xml」と表示されたファイルを消去してください。

Mac の場合：
ユーザー > ライブラリ > Application Support > Audient > iD

Windows の場合：
C: > ユーザー > (ユーザー名) > AppData > Roaming > Audient > iD

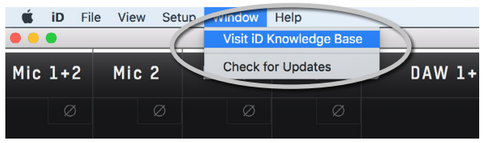
※フォルダーは消去しないでください。
※ Windows で表示されない場合、アクセス権や隠しファイルの設定をご確認ください。

ファームウェアが最新のバージョンか知りたい

- 「iD ミキサー」の「Check for Updates」から確認できます。アップデートも、この画面から行うこともできます。
- ホームページで最新バージョンの情報を確認できます。ファイルをダウンロードしてアップデートすることも可能です。

FAQ

バグ修正などの情報に関してはサポートのページをご参照ください。
日本語ページ：www.allaccess.co.jp/audient/id44/
英語ページ：www.audient.com/support



スペシフィケーション

D.I / INSTRUMENT INPUT:
(Channel 1)

D.I GAIN:	0 to 60dB
最大入力レベル:	+10 dBu
入力インピーダンス:	1MegΩ unbalanced
入力インピーダンス:	±0.5 dB 10Hz to 50kHz
THD+N @ 0dBu (1kHz):	<0.3%
SNR:	95 dB un-weighted
1/4" TS JACK:	Tip (Hot) & Sleeve (Shield)

ANALOGUE TO DIGITAL CONVERTER (ADC 1 & 2):
(AES-17 に基づきオプティカル出力にて測定)

最大入力レベル:	+18 dBu (0 dBFS digital maximum)
デジタル・リファレンスレベル:	+18 dBu = 0 dBFS
入力インピーダンス	>10k Ω Balanced
周波数特性:	±0.5 dB 10Hz to Fs/2 (Nyquist)
クロストーク:	-115 dBu @ 1kHz & 10kHz
THD+N @ -1dBFS (1kHz):	<0.0008% (-103dB dB)
ダイナミックレンジ:	121 dB un-weighted
1/4" TRS JACK:	Tip (Hot), Ring (Cold) & Sleeve (Shield)

DIGITAL TO ANALOGUE CONVERTER (DAC 1 & 2):
(AES-17に基づきオプティカル入力にて測定)

最大出力レベル:	+18 dBu (0 dBFS digital maximum)
デジタル・リファレンスレベル:	+18 dBu = 0 dBFS
出力インピーダンス:	<100 Ω
周波数特性:	±0.5 dB 10Hz to Fs/2 (Nyquist)
クロストーク:	<-118 dBu @ 1kHz & 10kHz
THD+N @ -1dBFS (1kHz):	<0.0006% (-104dB)
ダイナミックレンジ:	114 dB un-weighted, 117 dB A-weighted
1/4" TRS JACK:	Tip (Hot), Ring (Cold) & Sleeve (Shield)

MICROPHONE PREAMPLIFIER:
(ADCを含む測定)

MIC GAIN:	0 to 60dB
LINE GAIN:	-10 to 50dB
ファンタム電源:	48V ±4V @ 10mA channel (12VDC only)
MIC EIN（等価入力雑音）:	<-126.0 dBu
CMRR（同相信号除去比）:	>80 dB @ 1kHz
最大入力レベル:	+18 dBu (+28dBu with pad)
入力インピーダンス(Mic):	3k Ω balanced
入力インピーダンス(Line):	10k Ω balanced
周波数特性:	±0.5 dB 10Hz to 65kHz
クロストーク:	<-90 dBu @ 1kHz & 10kHz
THD+N @ 0dBu (1kHz):	<0.003% (-96dBu)
SNR:	96 dB
XLR COMBI FEMALE:	Pin 2 (Hot), Pin 3 (Cold) & Pin 1 (Shield)
1/4" TRS JACK:	Tip (Hot), Ring (Cold) & Sleeve (Shield)

HEADPHONE OUTPUT / (DAC 3 & 4:)
(AES-17 に基づきPHONES出力にて測定)

最大出力レベル:	+14 dBu (0 dBFS digital maximum)
デジタル・リファレンスレベル:	+14 dBu = 0 dBFS
出力インピーダンス:	<50 Ω unbalanced
周波数特性:	±0.5dB 10Hz to Fs/2
クロストーク:	<-110 dBu @ 1kHz & 10kHz
THD+N @ -1dBFS (1kHz):	<0.0008% (-103 dB)
ダイナミックレンジ:	124 dB un-weighted, 111 dB A-weighted
最大入力レベル (30 Ω):	+7.5 dBu 0.003% THD+N Power: 225mW
最大入力レベル (60 Ω):	+10.2 dBu 0.002% THD+N Power: 210mW
最大入力レベル (600 Ω):	+14.2 dBu 0.001% THD+N Power: 54mW
1/4" TRS JACK:	Tip (Left), Ring (Right) & Sleeve (Shield)

DIGITAL INPUT:

16-CHANNEL ADAT:	44.1kHz to 48.0kHz
8-CHANNEL ADAT:	88.2kHz to 96.0kHz SMUX
STEREO S/PDIF / TOSLINK:	44.1kHz to 96.0kHz (Stereo)

USB2.0 HIGH SPEED:

入力チャンネル数:	20 (4 Analogue, 16 Digital)
出力チャンネル数:	24 (8 Analogue, 16 Digital)
コネクター:	USB Type-C
付属ケーブル:	1.5m USB 2.0 Type-C to USB Type-C 1.5m USB 2.0 Type-C to USB Type-C
DSP ミキサーのレイテンシー:	ROUND TRIP (in-to-out) 44.1kHz 0.677ms 48.0kHz 0.625ms 88.2kHz 0.354ms 96.0kHz 0.323ms

寸法

品質保証

■品質保証に関して

本機は、audient 日本総代理店　オールアクセスインターナショナル株式会社がご購入後1年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）を提示の上、ご購入の販売店に御依頼下さい。保証書の提示が無い場合、保証内であっても1年以内の保証の対象にはなりません。また、全ての商品には、シリアルナンバーが登録されています。

本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いてご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。
本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- ●湿度の非常に高い場所
- ●砂やほこりが多い場所
- ●台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- ●空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

■取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。
クリーナーやシンナーは使用しないで下さい。

■サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取り扱いは行わないで下さい。記載外の使用方法で本機を使用されますと製品不良が発生する場合が考えられます。必ず本書に基づいた使用方法で使用して下さい。

記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取り扱いは慎重に行って下さい。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。

修理が必要な場合は、ご購入先もしくは、弊社へご依頼下さい。
Web：www.allaccess.co.jp　　Mail：audient@allaccess.co.jp

AAI
All Access International Inc.
本　社　東京都渋谷区桜丘町30 - 4 - 404
名古屋オフィス　愛知県あま市四反田27番地

お問い合わせはこちら
Mail audient@allaccess.co.jp
WEB www.allaccess.co.jp

A	Amperes
ADAT	Alesis Digital Audio Tape
ADC	Analogue to Digital Converter
DAW	Digital Audio Workstation
ASP	Analogue Signal Processing
CPU	Central Processing Unit
CUE	Artist Headphone Mix
DAC	Digital to Analogue Converter
dB	Decibel
dBu	Decibel referenced to 0.775Vrms = 0 dBu
dBFS	Decibel Full Scale
DC	Direct Current
D.I	Direct Injection (Instrument Input)
DoC	Declaration of Conformity
DSP	Digital Signal Processing
EQ	Equaliser
FAQ	Frequently Asked Questions
FCC	Federal Communications Commission
GB	Gigabyte
GUI	Graphical User Interface
HPF	High Pass Filter
HV	High Voltage
i/o	Input / Output
JFET	Junction Field Effect Transistor
LED	Light Emitting Diode
RoHS	Restriction of Hazardous Substances
RAM	Random Access Memory
S/PDIF	Sony Philips Digital Interface Format
THD+N	Total Harmonic Distortion + Noise
TRS	Tip Ring Sleeve (1/4" Jack Balanced)
TS	Tip Sleeve (1/4" Jack Unbalanced)
USB	Universal Serial Bus
V	Volts
XLR	Extra Live Return, Extremely Low Resistance, Canon X Series, Latching, Resilient Rubber Compound... or make up your own!